



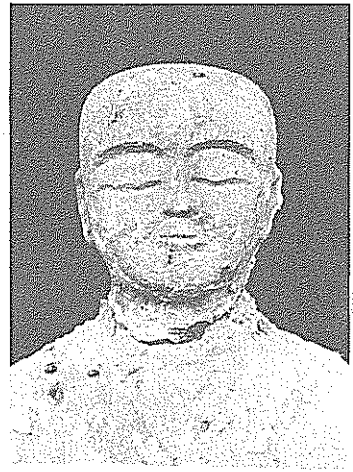
広報 **なんこく**



地蔵尊は私たちが最も心安く接することのできる信仰の対象である。日本には昔から夭折した子どもが、賽の河原で青鬼赤鬼に苛められた時、地蔵菩薩の袖にすがって助けを求めたという俗説から幼児の死後、地蔵尊の石像を建て冥福を祈った風習がある。市内にも錫杖をつき宝珠をもった地蔵尊、小祠の中にひっそり納められた石仏があちこちに見うけられる。江戸後期からあるこの野の仏たちは道祖神の役目もしたことであろう。路傍にある石仏には供養と、厄除け、病気の治癒、幸福の招来等をこめて造られた先人の願いが秘められている。

——とじておくと便利です——

史跡・文化財
めぐり⑱
(野の仏)



11/151976 No.230
編集・発行／南国市広報委員会

……市内のあちこちで野仏を拾ってみました。……

自主財政計画

議会で承認決まり



北陵中学校

この財政再建計画は、自治省の指導要領に基づいて作成、手続きを踏むものですが、財政再建準備の指定団体と異なり、議会の正式な議決を必要とせず、この計画の了承によって、財政再建計画が決

歳入確保で要望盛り

計画書県へ提出

さきに開われました九月定例市議会最終日（十月九日）の本会議終了後に、議員総会が開かれて、県を通じて自治省へ提出される。自主財政再建計画書の報告が、小笠原市長からなされ、議会の了承をうけました。

この財政再建計画は、自治省の指導要領に基づいて作成、手続きを踏むものですが、財政再建準備の指定団体と異なり、議会の正式な議決を必要とせず、この計画の了承によって、財政再建計画が決

定し、自主再建によることが本決まりとなりました。計画書は、▼財政再建の期間、▼財政再建の基本方針、▼財政再建に必要な具体的措置、▼歳入、▼歳出年次統合計画などの四項目からなり、赤字の原因や経常収支の状況などについても記述されています。



里保育所

◆ 財政再建の基本方針

五十七年度末における累積赤字三億六千七百五十五万円の生じた理由と解消の方策を示したもので、多額の赤字を生じた原因は、「四十八年度より財政の硬直化が進んだこと、負担能力を超えた過大事業の執行にある」とし、財政構造の硬直をみたのは、「昭和四十一年度より実施した給料表の『率あたり』と給料表の運用、昇給の短縮、保育所職員などで類似団体に比べ職員数が多いこと」などによる人件費の増加、

◆ 財政再建の期間

五十一年度から五十四年度までの四か年。管理経費の削減、合理化に努力せず、チリ貧の無料化の実施などによる「物件費の経常収支率の増大」などが目立つものだとしており、さらに過大な事業の執行は、「単年度の赤字原因にとどまらず、財源確保のための債務負担行為による借入金や、類似団体に比べて多い起債の償還が急増し、後年度の財政を圧迫している」などが、主な理由であると分析しています。

そして、複雑多様化する行政需要と住民要求に対処できる弾力性

のある健全財政を確立するため、歳入の確保、歳出の合理化の是正を行なうと総論で述べ、

- ▼歳入事項 ▲
 - ▽市税の税率引き上げと徴収率の向上、▽使用料の適正化、▽証明料の引き上げ、▽遊休施設の積極的活用と処分を行なうなど歳入確保の合理化に努力する。
 - ▼歳出事項 ▲
 - ▽人件費の削減（勸奨退職、欠員不補充、課、機構の統合合理化各種手当の削減、定期昇給の一年延伸、保母配置の検討）、▽物件費の合理的な削減、▽補助金、扶助費などの抑制、▽投資的経費は財政力の範囲内で重点的に実施する。
 - ▽起算の充実は後年度負担を考慮し慎重にし、財源確保のための債務負担行為は行わない。



第9回市民賞

福重さんら

はれやかに授賞

これからも社会奉仕に尽力

広く一般市民のなから産業、教育、文化、政治、社会労働などの各分野に貢献された功労者や社会のための事蹟、善行など、かくれた篤行者を表彰する第九回市民賞の授与式は、十一月三日、市役所大会議室で行われました。

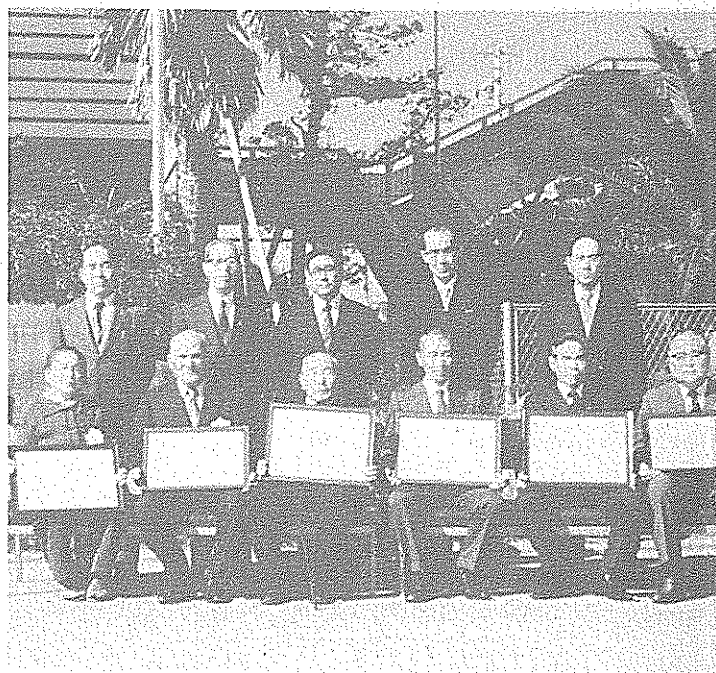
表彰されたのは▽産業部門で福重幸一（69）さん、農業▽稲生西谷▽行政部門には元市長の金堂久喜（65）さん、山田堰井筋土地改良区理事長▽廿枝▽一般部門は、久枝の山本長利（75）さん、農業、と二十年間助産婦として活躍された竹島春江（86）さん▽前浜の二人、▽社会福祉部門で溝淵亀善（82）さん▽農業、大塚八木▽の五人の方々で、小笠原市長から一人ひとりに表彰状と記念品が贈られました。

そして小笠原市長から『みなさんは明治時代からの生きた歴史であり、生き証人です。個人の利益や地域エゴのない心で社会のため尽くされてきました。これからも健康で活躍を』と、はげましとよろこびのことばがあり、利岡富次表彰選考委員長より『いづれも立派な人たちがばかりで、功績はどうだったか、人柄はどうか、かくれ功績はだれか、の三つの規準によって選考した』と選考に至る経過を述べ、『今日の感激を忘れずにこれからも市や社会のために奉仕したい』と、授賞者を代表して溝淵亀吾氏より謝辞があり授賞式を終わりました。

国沢選管委員長

急逝さる

長らく市選挙管理委員長として活躍され、県選管委員長会会長の要職にありました国沢嘉一さんは、十月十四日急逝されました。つつしんでお悔みを申し上げます。



優れている人的・地理的条件

産業の発展は教育が根幹

十月二十日、長岡東部公民館で
市政懇談会が開かれました。



この市政懇談会は、長岡東部地区の社会各層で年一回行なっているもので、ことしで六回目、小笠原市長としては初めての市民との対話集会となりました。

当日は、市の執行部から小笠原市長、国沢助役のほか九人の課長が出席、南国市といえば赤字、赤字といえば南国市、とマスコミ報道されるなど、財政事情のみでも重要な問題がある。

対話集会

市を知り、
市民を知る

それは行政の基となるものです。
市民に接し、話し合い理解し合うことは、行政を付託されたものの義務といえます。
市長とひびき交える

長岡東部で



対話集会は、市民の赤裸々な声を市長に伝える一つの方法です。
市発展のための建設的な意見は、お互いが尊重し合い、よりよい町づくりの糧としたいものです。

「市政を担うのは一年、財政、同和、空港が市政の重要課題だ、赤字ができたから直ぐ失政とはいえない。それ相応の行政がなされており、国の政治の対応の仕方が悪いことも原因だ。南国市は人的、地理的条件も優れていて、努力すれば活気あるまちに発展する。それには教育が根幹だ、産業の発展は教育の振興にかかっている。空港はようやく話し合いの場がもたれることになった」と所信を述べ、三十人ほどの地元の人々とひびき交わす対話が行なわれました。

市の老人年金が打ち切られたが、社会保障制度への逆行ではないか。
現在の財政事情ではしのびないことだが止むを得ない。日本は日本に即した福祉行政を考えるべきだ。税金が高く、しかも所得の高いヨーロッパの真似をすることに無理がある。

同和奨学金は 生活の基盤



同和奨学金はどのような観点に立っているのか。教育によって生活基盤の向上が得られる。就学、就職の機会均等をほかり、身分の保償されている会社、官庁などへの就職を可能ならしめるための施策である。安定した職場につけるためにはそれだけの修養を積むことが大切。制度はつづけてゆく。

同和団体に対する補助金は……
長い伝統をもって活動している団体を摘みとることはできない。補助金の使途については、内容を吟味して使ってもらおうようにしている。
失対事業はどのようにしているのか、……
時と違つて仕事も少なく、大月町や大正町、野市町は止めたと聞くが、縮小する考えはないか、手当はどうか。

法のもとで身分を保障されている、失対就労者は二八六八、県営一七八八、市営一〇八八人で手当は春、夏、秋、冬の四回。しかし国と県は夏と冬の二回のみで、いずれも市町村の負担が多い。ことしは昨年を下回る額で支出することになっている。手当の多いのは基本給の低いことにある。就労は月二十日に限定されており、手取り四万円前後となる。
就労者も高齢化し(最高七十四歳)、他への就職は困難、新規就労はできないので、自然減少を待つ以外はない。

老人に 生きがいを



老人に生きがいを持たすための老人対策(就労)

市政報告会……(11月24日PM7時)三和公民館

(三P下段より)
よる支出を原則とし、特定財源によるものは確実な資金計画と財源確保により執行し、歳入欠陥を防止するとともに一時借入金金の抑制を計るなど、市の歳入の確保と歳出合理化などの対応策による「内部努力」に徹するほか、外的要因である超過負担の解消、国の委任事務に対する財源配分の不満足是正、交付税など地方財源の拡充など国の制度の改善とその実現を強く要望するなど。

現状の財政危機打開の方策をはかる基本方針で示してまいります。
財政再建に必要な具体的措置
赤字解消をはかる具体的なものは、これまで明らかにされてきた市税アップなどの歳入増強職員の昇給ストップなどの歳出抑制の計画と変わりなく(広報なんこく二四号・二七号・二八号参照)、五十一年度では一億円の赤字解消を見込んでいます。

	48年度	49年度	50年度
人件費	45.5(40.7・40.8)	48.7(45.7・44.8)	50.0(45.3・一)
物件費	9.5(10.1・10.0)	13.6(9.8・9.6)	10.4(8.6・一)
維持補修費	0.6(1.5・2.1)	0.8(1.3・1.9)	0.8(1.1・一)
扶助費	8.8(10.2・3.8)	9.1(9.7・4.3)	11.6(10.2・一)
補助金等	8.4(6.3・9.4)	6.1(6.1・9.6)	12.1(7.6・一)
公債費	12.0(9.7・7.2)	13.7(12.4・7.1)	16.7(14.1・一)
計	84.8(78.5・73.5)	92.0(85.0・77.4)	100.9(86.9・一)



39年には「アンコ椿は恋の花」で都はるみがうなり演歌でデビュー。

内職は……
県で来年四月から、六十五歳以上で就労希望者を登録し、内職やパートなど、仕事のあつせんをしようとする準備を進めており、法人組織で発足する見通しがある。
市立図書館を設置してほしい
図書館はぜひほしいものだ。しかし、人員などの配置や経費の面からみて現状では実現が困難である。

望まれる 普通高校

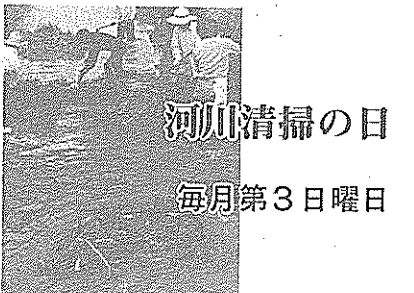
市の発展のためには、人材を作ることが大切だ。普通高校を作してほしい。
必要だと思う。市民から盛り上げたい。意見が大切。

社会教育や社会体育施設が乏しい。高が池中の跡地などの活用を考えてほしい。
跡地については社会教育審議会にはかつて考えた。遊休用地はグラウンドなどに活用したい。
ことしから学校施設の一般への開放がいわれており、活用ができる。しかし、モラルの問題があるので、相互に協調、協力のもとで開放してもらいたい。

選管委員長に 藤宗 俊雄氏

市選挙管理委員長は、国沢嘉一委員長の急逝にもない、委員長に藤宗俊雄氏、委員長代理に本田幸男氏をこのほど選任しました。なお、新委員長に井上新一(55)氏、補選委員に補充されました。

なお、別表の「赤字の原因に関する調べ」に赤字の原因を裏付けるものとして、財政構造(経常収支の比率)が示されています。



河川清掃の日

毎月第3日曜日

市衛生委員連合会(北村武会長)では、このほど開かれた評議員会で、毎月第三日曜日を「河川清掃の日」と定め、市内全域の河川一掃に取り組むことになりました。これは、最近、各地区単位や老人クラブなどで積極的に清掃が行われ、河川美化の気運が高まりつつあることから、各種団体(子供会、老人クラブ、青年団、婦人会、公民館など)に呼びかけるとともに、市からも収集車を出し事後処理を行うなど、市民総ぐるみ

の運動にしていこうというものです。処理方法については、協力団体の申込により、市から収集車を出し処理を行う。また、小さいゴミについてはゴミ袋を配布してステーションで処理することになります。申込は、公害環境課環境整備係 ☎(3)2111(内線325)までご連絡ください。各団体の協力をお願いします。

親ぼくと福祉の向上を

身体障害者福祉大会

第三回目的市身体障害者福祉大会が十月三十日、社会福祉センターで約四十人が参加して開かれました。この福祉大会は、身体障害者の親ぼくと福祉の向上を、市身体障害者協議会(前岡繁政会長)によって一昨年から開かれていたものです。

まず、前岡会長が「参加者は少ないが、いつまでもほがらかに、健康であるようこの会を有意義なものにしていきたい」とあいさつ。これに続いて田岡収入役ら来賓から「身体面においても精神面においてもつらく苦しいことが多

福祉の向上を目指そう」と、組織づくりなど今後の活動を確立し合いました。最後に参加者全員で親ぼくと、浪曲や民謡、舞踊などのレクレーションで楽しいひとときをすごしました。



お知らせのページ

検査 小型船舶所有者のみなさんへ

昭和四十八年九月の船舶安全法の大改正により、長さ十二メートル未満のモーターボートや遊漁船、作業船などの小型船舶および専用漁船が人を乗せたり遊漁を行ったり、荷物を運んだりする場合等のエンジン付きの船舶(外機船を含む)は、なるべく早く検査を受けるよう手続きをすすめて下さい。

調査 国道三十二号線の敷地調査

国道三十二号線の敷地調査のため、五十一年十月二十九日より五十二年二月二十八日までの

野犬 不要犬の買上げを一時中止

毎月一回市役所で行っている不要犬の買上げを一時中止しています。これは、高知市にある犬を処分する野犬抑留所が先の台風十七号の豪雨により土砂に埋没し

募集 盲青年社会生活教室

盲青年社会生活教室が開かれます。これは、盲青年層に属する重度の視覚障害者に対して、社会生活上に必要な知識の習得や体験交流などが行える場を設ける

銃の取扱いは慎重に

11月15日狩猟解禁

ハンターのみなさん、待望の狩猟が十一月十五日に解禁しました。この時期になると毎年このころから、いたましい猟銃による事故が後を絶ちません。今年もすでにハンターとしての基本的な取扱いに注意を怠った、初歩的なミスに

- お互いの位置を確かめ合う。
- 発射するときは、矢先の安全を確認する。
- 弾の装てんは、必要最少限にする。
- 安全装置を過信しない。
- 水平撃ちはしない。
- 無事故で狩猟をたのしみましよう。

南国警察署

訂正 おわびします

十一月一日号の広報「十一ページの市展あれこれ」で、無鑑査は現在十三人と掲載しましたが、訂正いたします。

お知らせのページ



文化祭終る

熱演、力作いっぱい



南国市文化祭は今年で第二回目をむかえ、市民体育館を会場に、展示、舞台部門で十月二十日から十一月五日まで行われました。展示部門では、写真、生花、絵画、俳句など約百八十点がならべられ、会場を訪れた人々の目を惹きつけていました。



母子家庭運動会は11月21(日)午前9時から後免野田小運動場で。天のときは同校講堂で。

日	一般・衛生行事	日	一般・衛生行事
21(日)	休日在宅医・川本医院(宇田) 4-2543	23(日)	休日在宅医・北村病院(後免) 4-2101 (印)4619 市展・市民体育館で(12月5日まで)あなたもご来場を!
22(月)	大篠3才児検診・9:30~10:30、1:00~2:00、 大篠地区公民館 岩・日章乳児相談・9:00~12:00 日章保健婦室 不燃物の収集(国府、岩村)	29(月)	長岡東部3才児検診・10:00~10:30 東部公民館 長岡西部3才児検診・1:00~1:30 中央福祉館
23(火)	休日在宅医・小松診療所(稲生) 5-8334 不燃物の収集(笠の川、八幡、小蓮、定林寺、滝本、蒲原)	30(火)	岩村・日章乳児検診(S50.9.1~51.9.30生)・ 1:30~2:00 日章保健婦室
24(水)	後免・野田3才児検診・1:00~2:00 後免町公民館 愛の献血・11:00~1:00 國都築紡績 2:30~4:00 南国市農協本部(大桶・新川) 不燃物の収集(中島町、沖、山島、吉田、常通寺島、江村、小籠)	1(水)	前浜乳児相談・9:00~3:00 南部福祉館 不燃物の収集(浜改田)
25(木)	長岡西部乳児検診(生後3カ月~1年6カ月)・ 1:30~2:00 中央福祉館 百・ジ・破(3回目・個人通知者のみ)・ 8:30~5:00 市内のかかりつけの医療機関で 不燃物の収集(植田、久礼田)	2(木)	不燃物の収集(前浜、下島、久枝)
26(金)	上倉・岡豊3才児検診・1:00~2:00 岡豊地区公民館 百・ジ・破(3回目・個人通知者のみ)・8:30~5:00 市内のかかりつけの医療機関で 不燃物の収集(植野、領石)	3(金)	稲生乳児相談・10:00~3:00 稲生地区公民館 不燃物の収集(立田)
27(土)	不燃物の収集(瓶岩、上倉) 法律相談・10:00~12:00 社会福祉センター(東略)3-4444	4(土)	不燃物の収集(田村)
		5(日)	休日在宅医・西川医院(物部) 4-2751 (印)3465 後免・野田・大篠乳児相談・9:00~4:00 市役所3階保健婦室
		6(月)	三和乳児相談・9:00~3:00 三和支所 十市乳児相談・10:00~3:00 十市支所 不燃物の収集(十市)
		7(火)	不燃物の収集(里改田、片山)
		8(水)	不燃物の収集(能間、野田口、城陸、朝日町)
		9(木)	不燃物の収集(稲吉、西窪、新川、鈴江)
		10(金)	不燃物の収集(山崎、八木、田井、関、竹中、西野々、住吉野、伊達野、南海学園)

●衆議院議員選挙立合演説会を、11月20日午後1時より、大篠小講堂で行います。…選挙管理委員会

衆議院議員選挙の投票日は、
12月5日です。

10月の交通事故

	件数	死者	傷者
10月の事故	20件	0人	24人
昨年の10月	17件	0人	23人
ことしの累計	200件	9人	287人

交通事故は100番へ

火災と救急

	火災件数	被害額	救急件数
10月の件数	1件	240万円	66件
昨年の10月	1件	3千円	70件
ことしの累計	24件	3,785万円	688件

火災と救急は119番へ